

子どもたちの笑顔を守るために

(1) いじめ等問題行動に対応する基本方針

本校は、校訓「夢にいどみ 人と和す」の下、「進んで学び 心豊かで すこやかな子ども」の育成を目指し、教育活動を行ってきている。子どもたちが、友達と和やかに、笑顔で過ごすためには、いじめは絶対に許してはならない。

「いじめは人間として絶対に許されないもの」との意識を学校教育全体を通じて子どもたち一人一人に徹底し、「いじめはどの子にも、どの学級にもおこりうる」「誰もが被害者にも、加害者にもなり得る」という考えでいじめを許さない学校づくり、学級づくりを進めるため、共感的な人間関係づくりや自発的・自治力の育成を図っていく。

(2) 主な取組

	教 師	子ども（教師の指導の下）
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Q - Uテストの実施（5・6年）（5月） ・ いじめゼロスローガン提案（5月） ・ 第1回「友達アンケート」の実施（6月） ・ Q - Uテストの分析（6月） ・ 第1回「児童理解を深める会」の実施（7月） （市教委指導主事出席「不登校いじめ防止研修会」） ※「Q - Uテスト」「友達アンケート」の結果についての情報交換 ※望ましい集団づくりについての話し合い ・ 「友達ミニアンケート」の実施（毎月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帰りの会での1日のふり返り ・ めあて等の反省をし、自分の生活の改善や、学級集団の向上のための手立てとする。 ・ 友達のよさやがんばりを認め合う場を設定する。 ○ 学級活動の充実 ・ 学級の問題点を出し合い、解決のための手立てを考えていく。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回「児童理解を深める会」の実施（12月） 4月からの学級・児童の変容について 児童の情報交換・気になる事案について ・ Q - Uテストの実施（12月）と分析（1月） ・ 「友達ミニアンケート」の実施（毎月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の名前を「さん」づけで呼び合い、お互いを尊重し合う環境づくりをする。 ○ 「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」等、言葉遣いに注意し合う環境づくりをする。
定期的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1日民生委員・児童会運営委員会によるあいさつ運動 ○ 異学年交流を通じた共感的な人間関係づくり （集団登校、なかよし班による活動、なべっこ会、よさこい集会等） ○ 毎月の職員会議で児童についての情報交換。生徒指導主事会、生徒指導関係の研修の報告、共通実践事項の確認 ○ 日常の子どもの見取りをしっかりと行い、些細なことでも情報交換 ○ 欠席児童の様子把握 ○ 友達ミニアンケートの実施（毎月） ○ アンケート結果等で気掛かりな子については、注意深く観察し、教育相談等を行い対応する。 ○ 軽微な問題行動についても、将来的にいじめに発展する可能性があるという認識のもと、個別指導及び学級等で全体指導を行う。 ○ 人権教育全体計画に沿った教育活動を確実に行う。 ○ 道徳教育の充実を図る。 <p>ぬくもり委員会（校長・教頭・教務主任・養護教諭・生徒指導主事・学級担任） いじめの未然防止について、日頃から指導の方策を協議し、方策や対策を決定する。</p>	

【家庭に協力を求めること】

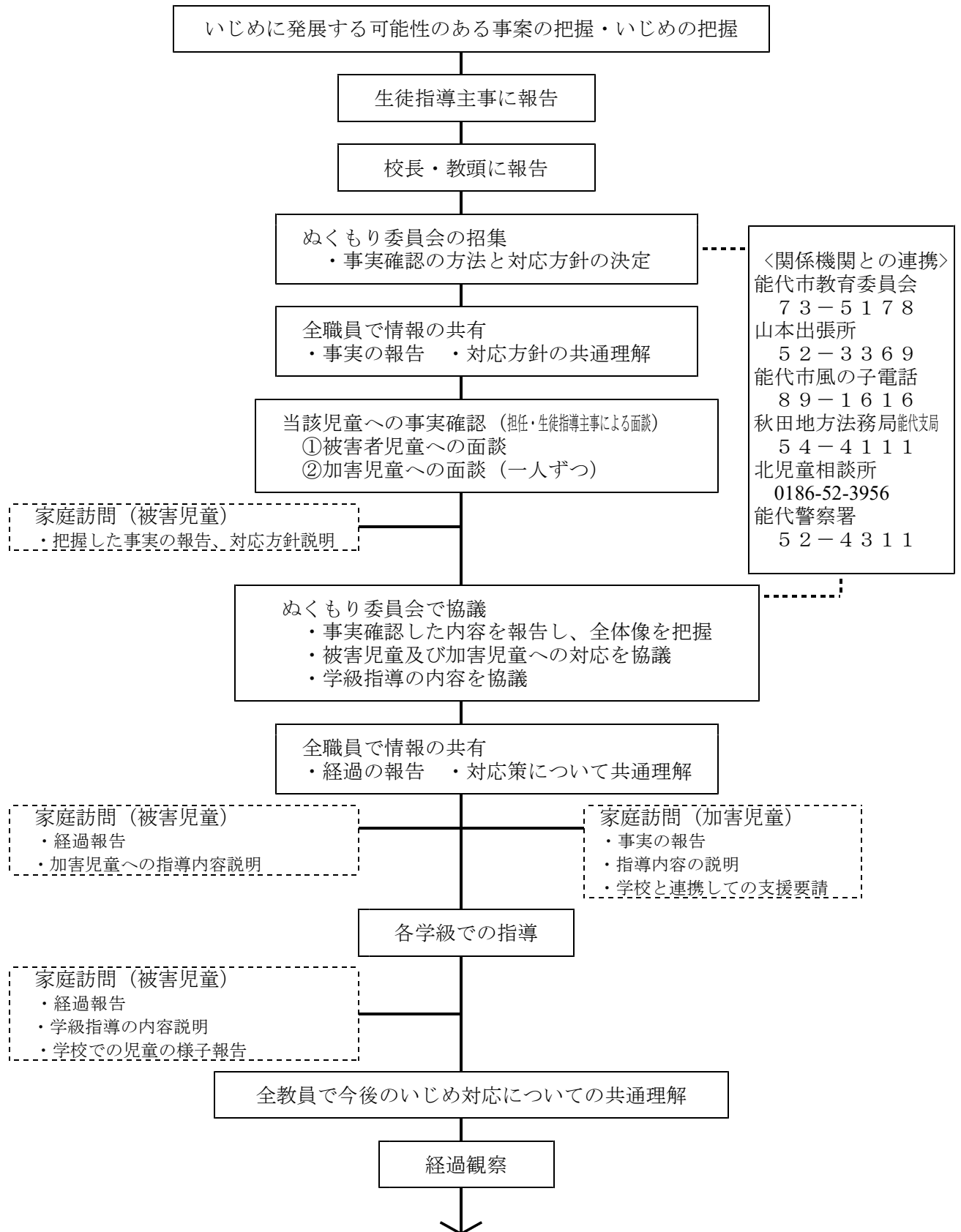
- ・ いじめの解決には家庭の協力が不可欠であることを伝え、理解を求める。
- ・ 家庭での子どもの様子に気掛かりなことがあれば、すぐに報告をお願いする。
- ・ いじめに発展しそうな事案があった場合は、双方の家庭に連絡し、家庭でも子どもから話を聞き、学校に伝えるようお願いする。そして共通理解の下、子どもの指導にあたる。

【地域に協力を求めること】

- ・ 年2回実施している「第五小教育懇談会」等から地域の情報を得る。

いじめ対応マニュアル（いじめを把握したとき）

令和6年4月2日



〈関係機関との連携〉
能代市教育委員会
73-5178
山本出張所
52-3369
能代市風の子電話
89-1616
秋田地方法務局能代支局
54-4111
北児童相談所
0186-52-3956
能代警察署
52-4311

- *チームで対応する。（面談、家庭訪問等）
- *関係児童への面談の記録を残す。（学級担任）
- *ぬくもり委員会の協議内容、事案の対応の記録を残す。（生徒指導主事）